



「町のお宝や改善点は何だろう…」

10月14、15の両日にかけて行われた、弟子屈高校1年生による「高校生まちづくり会議」での1こまです。1年生が8つのグループに分かれて、町の素晴らしいところと問題点から重点課題を選び、改善策を話し合いました。

(関連記事2～5ページ)

Public relations magazine

2010.11 No.675

てしかが

主な内容

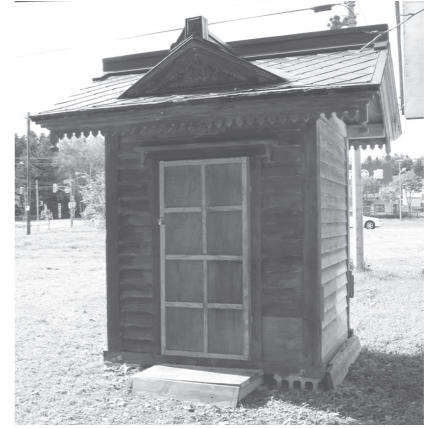
- 第5次弟子屈町総合計画策定に向けた取り組みが始まっています…②
- 摩周湖環境保全と地域を考える…⑥
- 第59号町議会だより第3回定例会…⑧
- 児童扶養手当の申請はお済みですか?…⑱
- 冬期間の暖房費を助成します…⑲
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設…㉙

むかしむか史(241)

てしかが歴史写真館 15
むかしむか史



奉安殿完成祝い(年代不詳)



奉安殿

奉安殿(ほうあんでん)

教育勅語(ちよくご)は、1890(明治23)年10月30日に大日本帝国憲法の下、忠君愛国・天皇制の精神的・道徳的な規範として、明治天皇の名前で発表されました。14の徳目が示され、式典などで校長が朗読し、学校教育に取り入れられました。その教育勅語と天皇、皇后の真影を納めていた建物が奉安殿です。国民学校の敷地内に建てられ、太平洋戦争が激しくなると、登下校時に奉安殿の前を通るときには最敬礼することとされていました。

太平洋戦争敗戦後の1946(昭和21)年、連合国最高司令官総司令部(GHQ)が教育勅語の神聖な取り扱いを禁止しました。1948(昭和23)年には、新しく公布された日本国憲法の国民主権、平和主義、象徴天皇制などの考え方にそぐわないことから、衆・参議院で排除や失効確認の決議がされます。全国各地では、奉安殿の取り壊しや焼却が行われたり、物置代わりに使われるものもありました。

写真の奉安殿は、1948年以降に仁多地区の社として使われていたもので、弟子屈町内にはほかに2つあることを確認しています。

教育勅語の解釈には賛否両論あります。日本が歩んできた不幸で悲しい歴史の事実を、良いも悪いもこの奉安殿は語ります。

てしかが郷土研究会(松橋)

てしかが 2010.11

毎月1回発行 発行/弟子屈町 編集/企画財政課 ☎482-2913 ☎482-2696
〒088-3292 弟子屈町中央2丁目3番1号 URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

R100 この広報紙には再生紙を使っています